「学校における働き方改革　取組の重点項目と主な取組内容」（アクションシート・学校版）

記入例はこちら

学校名　富士見支援学校旭分校

（※1）【主な取組内容の詳細】を確認	（※2）【取組の重点項目「独自①・独自②」】を記入	（※3）【年度ごとの取組項目】を決定	（※4）【年度ごとの達成状況】を記入
取り組みの詳細（※1） から確認	年度始めに ①取組主体ごとの独自の取組を記入する（任意） ②各重点項目の取組で、独自の取組が3つ以上ある場合は、「6. 各取組主体のその他の独自取組」の「独自①」～「独自⑩」に内容を記入し、年度末に評価する	年度始めに 「〇」：本年度取り組む項目 「－」：本年度は取り組まない項目 ※取り組まない理由を【年度ごとの達成状況】の【分析】の欄に記入	年度末に 《評価の欄》 A：達成できた　B：ある程度達成できた　C：あまり達成できなかった　D：達成できなかった ※「年度ごとの取組項目」が「－」の場合は「－」を選択 《分析の欄》 評価が「C」または「D」の場合、その要因等、分析結果を記入 ※「取り組みの重点項目１」の④については、評価にかかわらず「きずなの日」の実施回数を記入

取組の重点項目 1　取り組みの詳細（※1）
【勤務時間管理の徹底及び適切な勤務時間の設定】

	年度ごとの取組項目（※3）				年度ごとの達成状況（※4）							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①勤務時間管理の徹底	〇	〇	〇		A	時間外勤務時間は平均23時間であり、管理が徹底された。	A	時間外勤務時間は平均23時間であり、勤務時間の管理は徹底できた。				
②効果的な勤務時間の割り振り	－	－	－		－	時差出勤等の勤務時間の割り振りの導入には、小規模校の実態を考慮した検討を要するため。	－	時差出勤等の勤務時間の割り振りの導入には、小規模校の実態を考慮した検討を要するため。	－			
③学校閉庁日の設定	〇	〇	〇		A	3日間のみ設定できた。	A	学校閉庁日を6日間設定できた。				
④「きずなの日」の着実な推進	〇	〇	〇		B	実施回数 24 回　臨時の会議や保護者対応が入る場合があった。	B	実施回数 24 回　臨時の会議や、前籍校対応を実施しなければならない場合があった。		実施回数 回		実施回数 回
⑤定時退校日及び退校時間の設定	〇	〇	〇		B	概ね実施できたが、やむを得ず残留する職員もいた。	A	概ね実施できた。				
⑥1年単位の変形労働時間制についての検討	－	－	－		－	制度の運用について、今後検討を要するため。	－	制度の運用について、今後検討を要するため。	－			
独自①（※2）　時間外勤務について振替を行う。	〇	〇	〇		B	振替の仕組みができたことは良かったが、振替しきれなかった職員もいた。	A	振替を行い、都合の都合の良いときに早めに帰ってもらうことができた。				
独自②（※2）　学校閉庁日を増やす。	－	〇	〇				A	学校閉庁日を6日間設定し、年休を取って休んでもらうことができた。				

取組の重点項目 2　取り組みの詳細（※1）
【勤務時間・健康管理を意識した働き方の徹底】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①管理職のマネジメント力の向上・リーダーシップの発揮	〇	〇	〇		A	リーダーシップを持ち取り組むことができた。	A	リーダーシップを発揮し手取り組むことができた。				
②一人ひとりの教職員による働き方の見直し・意識改革	〇	〇	〇		B	かなり進んだが、更なる改善が必要である。	B	意識改革についてはかなり進んできている。今後更に取り組んでいきたい。				
③教職員の健康サポート・教職員の健康管理の推進	〇	〇	〇		A	健康づくりに全職員で取り組んだ。	A	ウォーキング・グランプリに参加するなど、全員で健康管理に取り組んだ。				
独自①（※2）　職場レクリエーションを実施する。	〇	〇	〇		B	コロナ禍のため十分実施できなかった。	B	コロナ対策のため、実施できなかった。				
独自②（※2）												

取組の重点項目 3　取り組みの詳細（※1）
【校務の精選・効率化・明確化】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①業務の役割分担の見直しと適正化	〇	〇	〇		A	小規模校であり、職員に役割を兼ねてお願いした。	B	小規模校であり、職員に兼職をお願いしたが、課題が残った。				
②各学校の実情を踏まえた行事・会議等の見直しと、「アクションシート」の作成と検証	〇	〇	〇		A	アクションシートを作成し、活用した。	A	長時間化してしまう会議は、数回あったが、教職員が意識して短時間で終わろうと努めた。				
③ICT等を活用した業務改善の支援	〇	〇	〇		A	Teamsの活用が進んだ。	A	Teamsを活用し、朝礼の時間を短時間で行った。				
④外部人材の確保・活用	〇	〇	〇		A	ICT支援員を活用した。	A	ICT支援員を活用し、研修会を実施した。				
⑤会計業務の管理に係る検討	－	－	－		－	分校の状況を考慮した検討を行っていかなければならないため。	B	分校の状況を考慮した検討を行っていかなければならないため。				
⑥若手教員のサポート	〇	〇	〇		B	話し合いがうまくできるよう工夫したが、サポートを今後も進めていきたい。	A	学年会議等の実施を行い、若手教員のサポートも実施した。				
⑦事務職員と教員の連携・協働の推進	〇	〇	〇		B	更なる連携を工夫していく。	A	事務職員と連携し、仕事に当たることができた。				
独自①（※2）												
独自②（※2）												

取組の重点項目 4　取り組みの詳細（※1）
【PTA・地域・関係諸団体との連携】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
① PTA・保護者・地域の理解を求める取組の実施	〇	〇	〇		B	更なる連携が必要である。	B	さらなる連携が必要である。				
独自①（※2）　「親子教師のつどい」を実施する。	〇	〇	〇		A	2回実施できた。	A	「親子教師の集い」を2回実施できた。				
独自②（※2）												

取組の重点項目 5　取り組みの詳細（※1）
【部活動運営の適正化・部活動指導の負担軽減】

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①部活動ガイドラインの遵守	－	－	－		－	部活動は実施していないため。	－	部活動は実施していないため。				
②部活動指導員等外部人材の活用	－	－	－		－	部活動は実施していないため。	－	部活動は実施していないため。				
③休日の部活動の段階的な地域移行（中学校）	－	－	－		－	部活動は実施していないため。	－	部活動は実施していないため。				
独自①（※2）												
独自②（※2）												

6. 各取組主体のその他の独自取組（※2）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
独自①　定時退校日をホワイトボードを使用し、都合が悪い教職員は別日を設定し、必ず定時退校を実施してもらう。	－	－	〇		－		－					